



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年11月9日

上場会社名 株式会社 赤阪鐵工所 上場取引所 東  
コード番号 6022 URL <http://www.akasaka-diesel.jp>  
代表者 (役職名)取締役会長兼社長 (氏名) 杉本 昭  
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役執行役員総務本部長 (氏名) 塚本 義之 (TEL)054(685)6081  
四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の業績 (2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,442	0.9	122	779.0	186	83.2	116	55.1
2022年3月期第2四半期	3,413	△24.1	13	—	101	—	75	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	88 30	— —
2022年3月期第2四半期	56 92	— —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	11,640	7,885	67.7
2022年3月期	11,513	7,812	67.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 7,885百万円 2022年3月期 7,812百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	— —	— —	— —	30 00	30 00
2023年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
2023年3月期(予想)	— —	— —	— —	30 00	30 00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	1.6	50	42.9	120	△39.1	80	△51.8	60 40

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	1,540,000株	2022年3月期	1,540,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	215,251株	2022年3月期	215,787株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	1,324,391株	2022年3月期2Q	1,324,363株

(注) 当社は「株式給付信託（BBT）」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託（BBT）」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
3. その他	7
生産、受注及び販売の状況	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ウクライナ情勢をめぐる地政学的リスクの高まりに加えて、欧米諸国と日本政府の金融政策の違いなどから為替が円安に急速に進行したことにより、エネルギー価格をはじめとする諸資材価格が高騰し、非常に厳しい状況で推移しました。

海運・造船業界は、外航海運及び外航船建造造船所は円安のメリットから好調に推移しましたが、内航海運及び内航船建造造船所はエネルギーや資材価格の上昇の影響も受けて厳しい状況が継続しております。

このような状況下、当社の当第2四半期累計期間は、前年同期に比べ船用内燃機関の売上が減少したものの部分品及び修理工事等の売上が増加した結果、売上高は3,442百万円（前年同期比0.9%増）となりました。収益面では、前述のとおり収益性の高い部分品及び修理工事等の売上が前年同期に比べ増加したこと、また、販売費及び一般管理費が前年同期に比べ減少した結果、経常利益186百万円（前年同期比83.2%増）、四半期純利益116百万円（前年同期比55.1%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は11,640百万円となり、前事業年度末に比べ126百万円増加いたしました。主な要因は、部分品及び修理工事等の売上が増加したことによる売掛金の増加（178百万円）等の一方、減価償却等に伴う有形固定資産の減少（95百万円）等によるものです。

当第2四半期会計期間末の負債は3,754百万円となり、前事業年度末に比べ53百万円増加いたしました。主な要因は、購入部品や原材料の先行手配による買掛金の増加（126百万円）等の一方、長期借入金の返済による減少（99百万円）によるものです。

当第2四半期会計期間末の純資産は7,885百万円となり、前事業年度末に比べ73百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加（76百万円）等によるものです。

この結果、当第2四半期会計期間末における自己資本比率は67.7%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べて321百万円減少し、当第2四半期会計期間末には2,017百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は195百万円（前年同期は166百万円の使用）となりました。これは主に、税引前四半期純利益186百万円、減価償却費158百万円及び仕入債務の増加額166百万円等に対し、売上債権の増加額262百万円等によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は335百万円（前年同期は74百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出495百万円等によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は180百万円（前年同期は57百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出115百万円や配当金の支払額40百万円等の減少によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想及び配当予想につきましては、第2四半期実績及び今後の受注動向等を踏まえ2022年11月9日に通期の業績予想を修正いたしております。詳しくは、同日付け公表の「通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	年間配当金
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭
前回発表予想 (A)	6,500	10	30	20	15.10	未定
今回修正予想 (B)	6,500	50	120	80	60.40	30.00
増減額 (B-A)	—	40	90	60	—	—
増減率 (%)	—	400	300	300	—	—

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,561,834	2,218,251
受取手形及び売掛金	2,108,955	2,371,785
仕掛品	2,011,789	2,018,152
原材料及び貯蔵品	435,926	444,067
その他	33,362	31,873
貸倒引当金	△1,986	△2,231
流動資産合計	7,149,881	7,081,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,338,988	1,295,052
その他(純額)	1,495,367	1,443,630
有形固定資産合計	2,834,356	2,738,683
無形固定資産		
134,191		116,755
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,416,818	1,724,135
貸倒引当金	△21,901	△21,309
投資その他の資産合計	1,394,917	1,702,825
固定資産合計	4,363,464	4,558,264
資産合計	11,513,346	11,640,164

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,144,314	1,310,642
短期借入金	402,494	387,145
未払法人税等	56,011	85,466
賞与引当金	139,800	140,200
製品保証引当金	54,926	35,768
受注損失引当金	47,760	43,848
その他	790,879	818,329
流動負債合計	2,636,186	2,821,399
固定負債		
社債	120,000	100,000
長期借入金	500,566	400,887
引当金	61,653	58,076
その他	382,806	374,297
固定負債合計	1,065,025	933,261
負債合計	3,701,212	3,754,660
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,000	1,510,000
資本剰余金	926,345	926,345
利益剰余金	5,538,330	5,614,512
自己株式	△437,126	△435,937
株主資本合計	7,537,550	7,614,921
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	274,583	270,582
評価・換算差額等合計	274,583	270,582
純資産合計	7,812,133	7,885,503
負債純資産合計	11,513,346	11,640,164

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	3,413,144	3,442,739
売上原価	2,734,124	2,669,462
売上総利益	679,019	773,276
販売費及び一般管理費	665,068	650,648
営業利益	13,950	122,627
営業外収益		
受取利息	79	81
受取配当金	18,752	19,890
助成金収入	30,000	37,318
支払補償費戻入額	25,907	-
その他	19,097	14,345
営業外収益合計	93,836	71,635
営業外費用		
支払利息	5,437	5,991
その他	651	1,944
営業外費用合計	6,088	7,936
経常利益	101,698	186,326
特別利益		
投資有価証券売却益	24,539	-
特別利益合計	24,539	-
税引前四半期純利益	126,238	186,326
法人税等	50,850	69,376
四半期純利益	75,387	116,950

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	126,238	186,326
減価償却費	166,164	158,008
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△24,539	-
助成金収入	△30,000	△37,318
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,251	△346
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,700	400
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△84,681	△19,157
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,701	△3,417
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	3,666	1,078
執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	300	△1,237
受注損失引当金の増減額(△は減少)	-	△3,912
受取利息及び受取配当金	△18,832	△19,972
支払利息	5,437	5,991
売上債権の増減額(△は増加)	58,172	△262,830
棚卸資産の増減額(△は増加)	137,376	△14,504
仕入債務の増減額(△は減少)	△286,004	166,327
その他	△273,007	13,562
小計	△214,559	168,998
利息及び配当金の受取額	18,832	19,972
利息の支払額	△5,466	△5,947
保険金の受取額	18,504	10,016
助成金の受取額	-	40,518
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	15,839	△38,369
営業活動によるキャッシュ・フロー	△166,848	195,189
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△211,000	△495,000
定期預金の払戻による収入	217,000	217,000
固定資産の取得による支出	△115,238	△54,990
投資有価証券の取得による支出	△3,513	△5,203
投資有価証券の売却による収入	34,879	-
貸付金の回収による収入	3,286	1,902
その他	26	394
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,559	△335,896
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	△91,697	△115,028
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
リース債務の返済による支出	△4,829	△6,693
自己株式の純増減額(△は増加)	△266	1,188
配当金の支払額	△40,594	△40,343
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,387	△180,875
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△298,795	△321,583
現金及び現金同等物の期首残高	2,424,423	2,338,834
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,125,628	2,017,251

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## 税金費用の計算

税金費用については、事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く場合には、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

## 3. その他

## 生産、受注及び販売の状況

当社の事業は船用内燃機関及び部分品の設計・製造・修理・販売及びその関連事業を主体とした単一セグメントであります。

## ①生産実績

当第2四半期累計期間の生産実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	3,442,739	3.3

(注) 金額は、販売価格によっております。

## ②受注実績

当第2四半期累計期間の受注実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	3,436,347	20.4	2,049,916	94.4

## ③販売実績

当第2四半期累計期間の販売実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
内燃機関関連事業	3,442,739	0.9